

## 第5回東郷湖羽合臨海公園パークビジョン検討会

- 1 日 時 令和5年6月6日（火）15：00～16：10
- 2 場 所 中部総合事務所第202会議室（一部リモート（Webex））
- 3 出席者 会議資料のとおり
- 4 概 要 資料に沿って説明後、検討会メンバーから意見をいただいた。

### 5 内 容

◇県事務局（会議資料に沿って概要説明）

#### ◆湯梨浜町 吉川副町長

- ・今回のビジョン（案）は、パブリックコメントへの対応も踏まえた最終版ということによろしいか。
- ・個別エリアの方向性についてはかなり書かれているが、全体的な運営の部分はさらっと書かれている。本当に多様な主体が参画して管理ができるのか、指定管理者が責任をもって様々な主体と連携して運営できるのか。例えば、総合事務所に公園の担当窓口を設置する等、日頃からコミュニケーションを取りながら、指定管理も含めて実際に運営をしていくときの推進力になるような体制をしっかりと考えておかなければならない。

◇県事務局

- ・ビジョン（案）は今回で最終版となっている。
- ・様々な主体が参画できる仕組みについて、指定管理者にも連携の方向性を検討していただく。県としては、農福連携や、産業界・大学等と協議会の場で情報共有する等の連携をしていくよう考えている。

#### ◆NPO 法人未来 岸田理事長

- ・6月2日～4日にアジア・ウォーキングフェスタを開催した。台湾、韓国からも100名近くの参加者があり、Café ippo から倭文神社を通過して日本海へ続く済州オルレの友情の道も歩いてもらった。このコースは、来年開催予定の済州オルレのウォーキングフェスタのルートに繋がっている道であり、このコースを発信していくことで、今後、インバウンドで訪れる人も増えると思う。また、桜並木を見たいという声もあったので、それらの発信もインバウンドに有効ではないかと思う。

◇県事務局

- ・連携してウォーキングコース等も一緒に推進していくよう考えている。

#### ◆倉吉市経済観光部 谷田部長

- ・地域の方がどれだけ関わってくるかが非常に大切。地元の方々から、具体的な提案や意見、要望があったのか。地域の方々の公園に対する思いがあれば、それを実現できるような環境を整えていかなければならないと思う。

◇県事務局

- ・新川地区の方々から、景観について御意見があった。日頃から清掃や管理に協力いただいているという御意見もあった。また、中部地区全体で、サッカーができる環境の整備をしてほしいという御意見があった。

#### ◆倉吉市経済観光部 谷田部長

地元が景観の取組とかを頑張っているのあれば、そういったことへの応援を含めた取り組みができればよい。

◇鳥取県商工会連合会 米田専務理事

- ・取組方針の優先順位や、いつまでにするのかということはどうのように決まるのか。タイムスケジュール感を教えてほしい。
- ・指定管理やパークPFIでやってもらおうとしていることがたくさんあるが、適正な委託料の積算を

してほしい。

・燕趙園は中国の材料を使用していて本格的なものなので、無料になっても質が落ちるといけないようにしてほしい。

#### ◇県事務局

・タイムスケジュールについては、今年の6月議会に提出するもの、次期指定管理(R6~R10)の仕様に反映させるものと、次期指定管理の中で検討を進めていくものがある。東郷池の浸水や地盤沈下については専門家の意見も聞きながら進めていく必要があるので、時間がかかる。

・指定管理の募集要項に反映させるとご説明したものについて、現在の指定管理の取組方針ややり方を変えるだけで反映できるものも多くあると考えている。委託料については、仕様に反映させる内容や燕趙園の無料化の施行等も踏まえて積算している。

・燕趙園は中国河北省との交流施設であるという価値は変わらないが、施設が老朽化してきている。それを直せるのか、一部を修景施設にするのか、色々な方法を長い目で検討していきたい。

#### ◆中部総合事務所県民福祉局 小谷局長

・燕趙園はもう基本的につつかないという認識を持っているが、一先ず先送りになるということか。それとも基本は修繕をしていって延命をさせるイメージなのか、その辺りを教えてほしい。

#### ◇県事務局

・木造建築物である28景は、令和10年度に更新時期を迎え、更新には5億強かかる。その他の建築物を含めると、将来的には20数億の更新経費がかかる。経費が非常にかかるので更新しないということではなく、例えば、一部の建物は修景施設として、外から見える部分については、中国庭園としてレベルを維持して管理していき、見えない部分については維持管理のやり方を変えていくという手法で乗り切っていきたいと考えている。

#### ◆PTA協議会 坂本理事

・燕趙園の無料化に伴う収入の増加に繋がる具体的な案を教えてほしい。

・サッカー場について話があったが、毎年大阪とかから夏休みに子どもたちが合宿に来ており、子どもたちがそういう活動をするのにとっても環境がよく、大阪等に比べて涼しいという声を聞く。スポーツクラブ等に、安全に快適に活動していただけるということをアピールしてはどうか。アピールするための設備は整えなければならないが、検討してほしい。

#### ◇県事務局

・燕趙園の収入増加のためには、キッチンカーやマルシェ等を誘致して場所の使用料を徴収するか、園内を貸し切りにするか燕趙園内で花火を鑑賞できるようにして入場料を徴収するかが考えられる。また、イベントが開催されれば、売店施設等での売り上げも増加するのでその部分の充実も考えている。

・サッカー場については、公園の利活用の方針に沿って、いろいろな意見を踏まえて検討したい。

#### ◆湯梨浜町観光協会 伊藤事務局長

・燕趙園では、中華コスプレ大会が開催され、初参加の方が約40人来られていた。コスプレの聖地として、燕趙園は外から見るだけでなく、中に入って実際に撮影できる場所として残しておきたいという思い。無料になるのは仕方ないが、多少料金を支払うからこそその付加価値はあると思う。

・昔から地元に住んでいらっしゃる方は、ビジョンのことを知らなかったりする。地元の方の意見も吸い上げたら画期的な意見も生まれるのでは。例えば、上浅津の小学生が、ゲートボール場を畑にして、作物に自分のプレートを付けるとか、自分に近いエリアの公園を利用して何かするというのを考えていただけるとような仕組みや補助を考えていただければ。地元の方が頑張っている公園であれば、行ってみようとなる。

#### ◇県事務局

・まずは地域に愛される公園であることを目指している。引き続き、地域の方々や関係団体と連携を図っていきたいので、アイデアやご助言をいただきたい。

・燕趙園については、入場料が無料になると、食事に行ってそのまま園内で楽しめる等、一帯的に利

用しやすくなる。また、有料施設であれば専用利用が難しいが、無料になると、民間事業者が貸し切ってイベントをする場合や、結婚式・披露宴をする場合、専用利用料を収入として徴収して、利用してもらうことが可能になるほか、花火大会の時に、観覧会を園のイベントとして企画し、特別な入場料を徴収して収入にすることができる。燕趙園を使いたい民間事業者や個人と、施設側の双方にとって使い勝手が良くなり、さらに収入も上がるという手法として無料化を考えている。

◆一般社団法人造園建設業協会 清水理事

・パブリックコメントで出た意見がこのビジョンに反映されていればと思う。ビジョンの取組を実施するときには、これまで検討会で出た委員の意見を活用し、検討会の効果を十分発揮できるようにしてほしい。

◇県事務局

・第1回から第5回までで委員の皆様いただいた意見はビジョンに反映させていただいている。また、パブコメの内容は検討の方向性の中に入れていく。また、内容についてはHPで公開するほか、委員の皆様にも共有する。  
・これまでいただいていた意見で、ビジョンには出てこない部分についても県としては残しているもので、検討に当たっては、その部分も踏まえて議論をしていきたい。

◆湯梨浜町 吉川副町長

・普通は、ビジョンがあったら、その後にアクションプランのようなものがある。ビジョンで一区切りなのだと思うが、住民の方々は、ビジョンというレベルよりももっと具体的なところで、公園がどうなしてほしいとかの声を寄せていると思う。それらの声にどうやって反応していくかが、これから大切になる。顔が見える公園にしていく必要があり、一緒にやろうという思いを醸成する場がないとうまくいかないのでは、分かりやすい形で情報発信をしたり、公園に関する意見を送ったりすることができる窓口を設けたり、推進体制をしっかりと考えて実践していく必要があるということ強く感じている。指定管理が前提になっていて、指定管理の仕様書を作成するためのビジョンづくりのようなどころがあるが、本来はそうした運営をどのようにやっていくかということもビジョンに書き込むべきだとは思う。

◇県事務局

・まずは次期指定管理でエリア分けをしてやってみる。今後公園の活性化に関する協議会の立ち上げを検討しており、関係機関の方や地域の方と情報共有・連携を図って、指定管理者だけでなく県も自ら動いていくことを考えている。県だけで進めていくのは難しいため、みなさまにも運営に関して助言をいただきたい。  
・パブリックコメント等では、ビジョンとして書き込んできたことに概ね沿っている内容がほとんどであり、今までこうして検討会を重ねてきて御意見をいただいた方向性は間違っていなかったということを確認した。防災機能の充実という点と、サインの統一化という点は抜け落ちていたため追記したところ。  
・今後の運営にあたり、事業者としてできること、県としてできることを選別しなければならない。一気に別の施設に転換しても、現在既に周辺の地域の方々に利用されている形態があり、調整が必要になる。各主体と相談しながらどう優先順位をつけて進めていくかということは、現段階で決められないことが多いので、また引き続き皆様とご相談しながら着実に進めていきたい。その中で双方向の窓口も生まれてくると思うが、それについても検討していく。  
・ここからスタートということで、もっと具体的に、個別に議論をして実現していく中で、引き続き皆様にもご協力いただきたい。